

お誕生日おめでとうございます♪

2月15日 羽生とし子 さん



97歳のお誕生日

娘さんからお誕生日のお祝いに大きな花束をもらい、とても満足そうに記念写真を撮られていました。この日は言葉こそ発せられませんが、大好きな施設長に声を掛けられると満面の笑みを浮かべ、その後は施設長に介助され大きなプリンを一つ美味しく召し上がっていました。

2月20日 三木キクア さん



103歳のお誕生日

三木さんは大きな箱に入ったプレゼントが大好きです。心得たスタッフが大物の物を渡すと「どこにいていいかわからないわ、立派なお祝い！」と言い、箱を開けて服を手に取り「わあーちょっと立派だよ！あははー、ありがとうございます！なにかなにまで…!!」とものすごく喜ばれていました。

2月25日 木村 秀勝 さん



78歳のお誕生日

ケーキの前で皆さんが歌ってくれるパステイソングに普段あまり笑わない木村さんがほほ笑んでいました。そして、プレゼントを渡すと周りから「アー大きい！」と声が上がりました。「ありがとうございます、こんなにみんなに祝ってもらって!!」と、みなさんに照れながら挨拶をされていました。

普段の生活 Aユニット
楽しくやっています。無理もせず、みなさんが役割を持ち、ゆったりしながら新聞や雑誌を見たり、ゲームをしたりと思いたいライフスタイルをスタッフと一緒に作っています。時には、おやつにたこ焼きを焼いて食べたりもしますし、ラーメンを食べたいとなれば、豚骨を買い込み、前日から煮込んでスープを作り、本格的な醤油ラーメンを作る入居者の方もいます。また、夜春光台にあるスナック舞風（マブ）に行きビール片手にカラオケを楽しめる方もいます。そんな生き生きとした A ユニットです。



施設長コラム
～気持ちを伝える花～
花は、人を癒やし、喜ばせ、人と人を結ぶ便利なツールでもあります。卒業入学では、春の花をメインに夢が膨らむような明るい色のお花を送ったり、還暦のお祝いであれば60本の真っ赤なバラを贈れば、そのボリューム感だけでも人生の重みを感じていただけるのではないのでしょうか。そして、その気持ちをどう受け止めるかはあくまでも送られた相手が決めることですが、そのプレゼントを贈るまでの事を心を込めて考えることはとても意義あることだと思います。人間関係を円滑にするためにも上手に送りたいものですね。私は花には万人に愛される象徴的な意味があると考えています。グループホーム花の『花』もその意味があります。そして運営理念の「いつも花に囲まれた明るく清々しい人生を」の『花』には、また別の意味があり『善意の人』という意味が込められています。入居者様とご家族様、花の役職員、花に集う皆さんがそのような集まりであり続けるよう努力しているところです。理念などは、文字にすることも出来ますし、言葉に出すことも出来ます。でも、何をするか何をしたかがとても大事です。その事を実行するためにスタッフと一緒に努力している毎日です。花に集う皆さんに温かく見守っていただき、常に前向きなお話を出来るお仲間であれば幸いです。

節分の豆まき【2月3日(金)】

豆をまく季節がやってきて、鬼の太郎と花子も楽しそうに皆さんに愛敬を振りまいています。鬼とは本来恐ろしいもので、角をはやし虎の腰巻をはき金棒を持っているイメージがあります。花の鬼さんも見た目まさにその通りです。その鬼が花のキャラクターなのは非常に抵抗あるところですが、最近の世の中はどんなものでもかわいらしくキャラクター化され、入居者様も喜んでくれているのでそのまましているところです。節分行事は、まずは太郎と花子がお手本となり体操を行い、花笠音頭を踊り、歌を歌い、風船パレーに続いてユニット対抗玉入れ競争を行っています。玉入れも豆を投げる前の準備運動なのでとても力が入っており、「玉をもっとちょうだい」と言われて、たくさん入れて「いい運動できた～」と言い、爽やかな笑顔をされていました。体を動かした後は、節分のメイン行事豆まきです。みなさん「福はあ～内、福はあ～内…」と気持ちよさそうに豆をまき、花に幸運を呼び込んで頂いております。また、近くに鬼が通ると「うわ～こわい!!!」と大笑いしながら、「鬼は～外!」と、カいっぱい投げて「鬼に豆をぶついたら幸せがくるかな～」話されていました。そして退散した鬼が改心して戻ってくると「お疲れさん」と明るく声をかけていました。運動後のおやつは美味しいものです。「歳の数だけ豆食べたら死んでしまうわあ～」と笑いながら、豆もそのほかのおやつもたくさん召し上がっておられました。これから春に向けて徐々に活動的な雰囲気を作ってまいりたいと思います。



豆まきのあと皆様でお雑燵を飾りました